

# 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類—IV

工藤孝浩

## Takahiro Kudo: New Records of Fishes from the Coasts of Yokohama, Kawasaki and Nakanose Areas, Tokyo Bay-IV

Summary: Fish fauna in the coasts of Yokohama, Kawasaki and Nakanose areas in Tokyo Bay were researched and over 300 species has hitherto been recorded from the areas. In the recent survey 10 species are newly recorded from the areas from November 1998 to October 2004. Especially, the following 4 species are the first records from Tokyo Bay: *Exocoetes monocirrhus*, *Parexocoetus brachypterus brachypterus*, *Parapercis ommatura*, *Macrorhamphosodes uradoi*.

### はじめに

筆者らは、東京湾内湾部の魚類相を明らかにするため、横浜市内に水揚げする漁船の漁場である横浜・川崎の沿岸から中の瀬を含む海域の魚類を、水揚げ物と自らの採集によって調査している。近年新たに発見された種については、本誌上で報告しており(工藤・中村, 1994; 工藤ほか, 1996; 工藤・中村, 1999), 前報では合計で306種が記録されたことを述べた。本報告では、その後の5年間で、新たに発見されて標本を収集することができた10種を追加報告する。

### 調査方法

1998年11月から2004年10月までの間に図1に示す海域において、次のような方法により魚類を採集した。得られた標本は生鮮時にカラー写真で撮影後、横須賀市自然・人文博物館魚類資料(YCM-P)として登録保管した。

#### 1 水揚げ調査

横浜市漁業協同組合柴支所の出荷場において、図1に示す海域のほぼ全域を漁場とする小型機船底びき網などの水揚げ魚を記録し、資料的価値の高いものを譲り受けた。ほぼ周年にわたり毎月2回程度実施した。

#### 2 潜水調査

横浜市金沢区の野島海岸において毎月1回、同市中区の山下公園において年2回、SCUBAを用いた魚類の潜水目視観察を行った。観察された全ての種の発育段階と個体数を記録し、水中写真の撮影も併せて行った。資料的価値が高いものについては手網により採集した。

#### 3 手網等調査

横浜市金沢区の野島・平潟湾周辺の水深1m未満の浅海域で、毎月1回手網や投網を用いた調査を行った。また、数軒の遊漁船業者に対し、珍しい魚が釣れた時には標本を確保した上で連絡をくださるよう依頼した。

### 調査結果

本調査により当該海域から新たに10種が発見・採集され、合計で316種となった。今回新たに確認された種について、以下に目録として記述する。本報告の標本に関する記述は、標準和名、学名、図版番号、登録番号、丸括弧内に標準体長(mmSL)、採集年月日、採集地、採集方法、採集者氏名の順に記した。魚種名、分類学的配列および全

般的な分布記録などは中坊編(2000)に、また幼期については沖山編(1988)に従った。

### ハゴロモトビウオ *Exocoetes monocirrhus* (図2-1)

YCM-P 42433 (21.1mmSL), Aug. 5, 1999, 横浜市金沢区金沢漁港内水面, 手網, 工藤孝浩 (以下, 工藤)

南日本に分布するとされ、東京湾周辺では三浦半島城ヶ島の岸壁で稚魚が採集されているが(工藤・岡部,

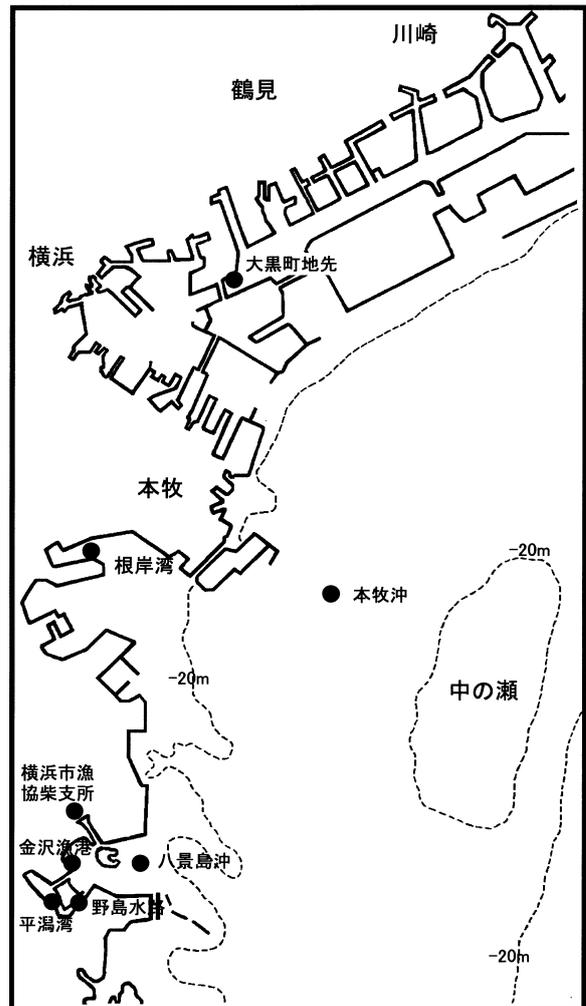


図1. 調査地点 (Map showing collection localities in investigation area).

1991), 東京湾内湾部からは初記録となる。

**ツマリトビウオ** *Parexocoetus brachypterus brachypterus* (図 2-2)

YCM-P 42436 (21.2mmSL), Sep. 4, 1999, 横浜市金沢区平潟湾水面, 手網, 工藤

南日本に分布するとされ, 東京湾周辺では三浦半島の三戸定置網から成魚が(山田・工藤, 1992), 城ヶ島の岸壁からは稚魚が採集されている(工藤・山田, 2003)。東京湾内湾部からは初記録となる。

**アイブリ** *Seriolina nigrofasciata* (図 2-3)

YCM-P 42438 (18.9mmSL), Aug. 5, 1999, 金沢漁港内水面, 手網, 工藤

南日本の水深 20 ~ 150 m の大陸棚上にある沖合の岩礁域に分布し, 東京湾近隣の海域では藤沢定置網から記録がある(山田・工藤, 1998)。

**ロウニンアジ** *Caranx ignobilis* (図 2-4)

YCM-P 31814 (235.0mmSL), Dec. 6, 1998, 横浜市根岸湾内水深 2m, 釣り, 中島康郁

南日本の内湾やサンゴ礁などの沿岸域に分布し, 東京湾周辺では三戸定置網から記録がある(山田・工藤, 1993)。標本個体は 1 歳魚と考えられ, 東京湾内湾部において越冬した可能性が高い。火力発電所の温排水口周辺では, ギンガメアジ *C. sexfasciatus* とともに本種の大型個体が釣れる事があるとの情報があった(標本提供者中島氏私信)。

**オキアジ** *Uraspis helvola* (図 2-5)

YCM-P 42410 (222.5mmSL), Nov. 30, 2002, 横浜市鶴見大黒町地先水深 1m, 釣り, 中島康郁

南日本の沿岸から沖合の底層に分布し, 東京湾周辺では三戸定置網から記録がある(山田, 1990)。相模湾のパヤオで観察されているように(工藤, 1998), 若齢期には流れ藻等の浮遊物に随伴する習性があり, 浮遊物とともに東京湾内湾部に移送されたものと考えられる。

**ムレハタタテダイ** *Heniochus diphreutes* (図 2-6)

YCM-P 42377 (42.1mmSL), Oct. 11, 2003, 横浜市金沢区野島水路水深 3m, スキューバ, 諏訪部英俊

相模湾・長崎県以南の岩礁域に分布し, 東京湾周辺では横須賀市天神島から記録がある(林, 1995)。標本個体は, 平潟湾と野島海岸とを結ぶ水路中に打ち込まれた H 鋼に定位していた。

**オヤビッチャ属の 1 種** *Abudefduf* sp. (図 2-7)

YCM-P 42440 (11.9mmSL), Aug. 5, 1999, 金沢漁港水面, 手網, 工藤

標本個体の体型は円形に近く, 腹鰭・尾鰭が大きく, 背鰭は 13 棘 14 軟条, 臀鰭は 2 棘 14 軟条を数えた。体色は, 吻部と尾柄部が白く, それ以外は一様に暗褐色で, 本属の同定の決め手となる斑紋は未だ発現していない。

背・臀鰭の計数形質が一致する本属魚類は, 本調査海域からロクセンスズメダイ *A. sexfasciatus* (工藤・中村, 1994) とシマスズメダイ *A. sordidus* (岩田ほか, 1979) が記録されており, そのいずれかである可能性もあるが, 情報が乏しい本属稚魚の知見集積に資するために報告した。

**マトウトラギス** *Parapercis ommatura* (図 2-8)

YCM-P 42394 (106.5mmSL), July 17, 2004, 横浜市金沢区八景島沖水深 12 m, 釣り, 工藤航平

南日本のサンゴ礁海域を除く浅海砂底域に分布するとされ

ている。相模湾からの記録がなく, 東京湾からも初記録であり, 著者らによって別途詳細な報告がなされる予定である(萩原・工藤, 投稿中)。

**オニカマス** *Sphyræna barracuda* (図 2-9)

YCM-P 42445 (24.4mmSL), Aug. 16, 1999, 金沢漁港水面, 手網, 工藤

南日本の内湾やサンゴ礁域の浅所に分布し, 東京湾周辺では城ヶ島(工藤・岡部, 1991) から成魚の記録があり, 標本個体が採集された金沢漁港に隣接した海の公園では 1999 年 8 月 30 日に当時水産庁中央水産研究所の非常勤職員であった野中圭介氏により稚魚の生態写真が撮影されている(1999 年 10 月 27 日付け神奈川新聞記事)。

**フエカワムキ** *Macrorhamphosodes uradoi* (図 2-10)

YCM-P 42411 (198.2mmSL), May 28, 2000, 横浜市漁協柴支所出荷場, 小型機船底びき網(本牧沖水深 30 ~ 40 m), 工藤

駿河湾から九州一パラオ海嶺の深海に分布するとされ, 近隣海域では遠州灘沖の水深 400 ~ 500 m から漁獲されている(中島, 2003)。東京湾からは初記録となるとともに, 水深 30 ~ 40 m という浅海域における出現例としても注目される。本種の口は上方に開口するが, 左か右側面に開口することもあるとされ, 標本個体ではやや左上方に開口していた。

## 謝 辞

横須賀市自然・人文博物館の萩原清司学芸員並びに林公義館長, 相模湾海洋生物研究会の山田和彦氏からは標本の登録と同定でお世話になるとともに種々のご教示をいただいた。横浜市鶴見区康友丸の中島康郁船長, 海をつくる会の諏訪部英俊氏, 横浜市立青木小学校の工藤航平君からは標本を提供いただいた。標本の計測・整理では, 東京海洋大学大学院生の剣持和憲氏の手を煩わせた。また, 現地調査においては海をつくる会の方々, 横浜市漁業協同組合柴支所の方々のお世話になった。謹んで感謝の意を表する。

## 引用文献

- 林 公義, 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21(1):243-258.  
岩田明久・酒井敬一・細谷誠一, 1979. 横浜市沿岸域における環境変化と魚類相. 横浜市公害対策局 公害資料, (82): 1-245.  
工藤孝浩, 1998. 相模湾のパヤオ(表層式浮魚礁)において潜水観察された魚類群集. 神奈川水産研報, (3):1-18.  
工藤孝浩・中村良成, 1994. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類. 神奈川自然誌資料, (15):39-45.  
工藤孝浩・中村良成・清水詢道, 1996. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類 - II. 神奈川自然誌資料, (17):63-72.  
工藤孝浩・中村良成, 1999. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類 - III. 神奈川自然誌資料, (20):45-54.  
工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (11):29-38.  
工藤孝浩・山田和彦, 2003. 三浦半島南西部沿岸の魚類 - V, 神奈川自然誌資料, (24):49-54.  
中坊徹次編, 2000. 日本産魚類検索 全種の同定 第2版 I, II. lvi + 866pp., vii + 867-1748pp., 東海大学出版会, 東京.  
中島徳男, 2003. 愛知県近海の魚類. 198pp., pls. 79. 自費出版.  
沖山宗雄編, 1988. 日本産稚魚図鑑. xii + 1157pp. 東海大学出版会, 東京.  
山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (11):95-102.  
山田和彦・工藤孝浩, 1992. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類 - III. 神奈川自然誌資料, (13):45-54.

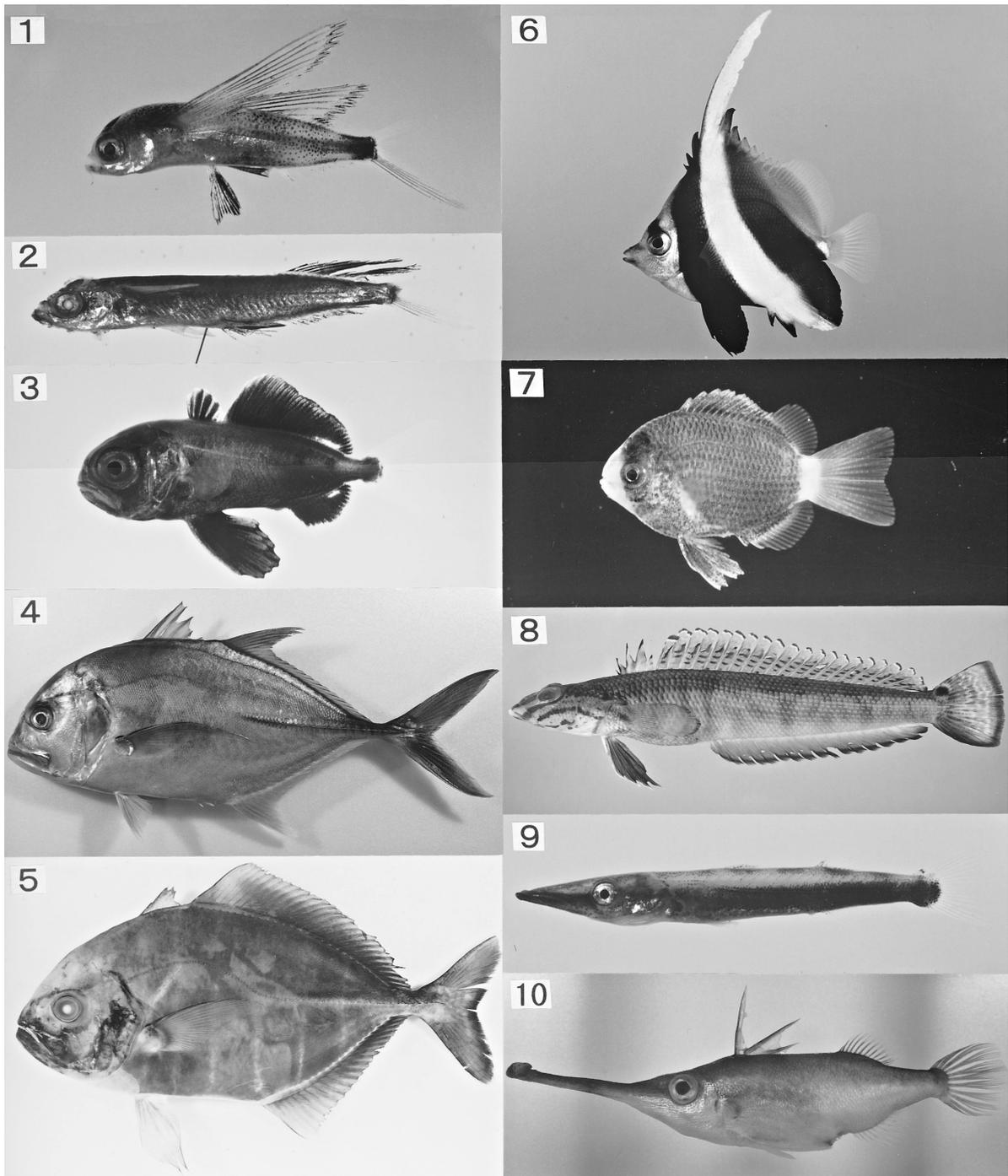


図2. 1: ハゴロモトビウオ *Exocoetes monocirrhus*, YCM-P 42433, 21.1mmSL ; 2: ツマリトビウオ *Parexocoetus brachypterus brachypterus*, YCM-P 42436, 21.2mmSL ; 3: アイブリ *Seriolina nigrofasciata*, YCM-P 42438, 18.9mmSL ; 4: ロウニンアジ *Caranx ignobilis*, YCM-P 31814, 235.0mmSL ; 5: オキアジ *Uraspis helvola*, YCM-P 42410, 222.5mmSL ; 6: ムレハタタテダイ *Heniochus diphreutes*, YCM-P 42377, 42.1mmSL ; 7: オヤビッチャ属の1種 *Abudefduf* sp., YCM-P 42440, 11.9mmSL ; 8: マトウトラギス *Parapercis ommatura*, YCM-P 42394, 106.5mmSL ; 9: オニカマス *Sphyraena barracuda*, YCM-P 42445, 24.4mmSL ; 10: フェカワムキ *Macrorhamphosodes uradoi*, YCM-P 42411, 198.2mmSL.

(神奈川県水産総合研究所)

